

Slovenia Monthly February 2021

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2021年3月5日



～2月の主なポイント～

- 内 政： 政府不信任動議、否決
新保健大臣の就任
- 外 政： ポチヴァルシエク副首相兼経済開発・技術大臣、「17+1」首脳会合に出席
- 経 済： 2020年のスロベニアのGDP速報値：マイナス5.5%
- コロナ： スロベニアで南アフリカ型変異種が初確認
- 社 会： 欧州最高峰の煙突がクライミングコースに変身

政治

【内政】

●警察労働組合のストライキ、一時停止【10日】

警察官労働組合は、1か月間続けていたストライキを一時停止した。ストライキ停止の理由は、政府がシェンゲン国境の警備に対するボーナスの支払いの継続に同意したため。労働組合側は、政府のボーナス支払いの決定は交渉を継続するにあたり、良いスタート地点となると述べた。労働組合側のストライキは、政府が2018年に組合側に約束した事項が順守されていないとして本年1月11日に開始されたもので、今回の政府側の妥協により、組合側は一時的にストライキを停止するものの、包括的な合意がなされるまでは完全な終了は宣言しないとのこと。



(Photo: the Slovenia Times)

●野党、政府不信任動議を提出【10日】

10日、マリヤンチャレツ・リスト(LMS)、社会民主党(SD)、左派(Left)、アレンカ・ブラトウシエク同盟(SAB)及び年金者党(DeSUS)の中道左派野党5党は、再びヤンチャ政権に対する不信任動議を議会に提出した。同動議では、前回と同様にエリヤヴェツDeSUS党首を首相候補として推薦した。今回の不信任動議においては、計10名の議員が署名をしており、動議を共同提出した各党から2名ずつが署名を行っている。

●国民議会、政府不信任動議を否決【15日】

15日、国民議会は野党5党(マリヤンチャレツ・リスト(LMS)、社会民主党(SD)、左派(Left)、アレンカ・ブラトウシエク同盟(SAB)、年金者党(DeSUS))が提出していた政府不信任動議を、賛成40票、反対7票、無効票6票で否決した(注:不信任動議可決には、国民議会定員90の過半数となる46票の賛成票が必要だった)。投票は無記名で行われ、連立与党の議員の大多数は投票を行わなかった。なお、投票前の審議において、野党側はヤンチャ首相の専制的な政治手法を批判した一方、連立与党側は困難な時期における政府の成果を強調するとともに、政治的

利益を得るために新型コロナウイルスを利用しているとして野党側を批判した。

同動議否決後、DeSUSのエリヤヴェツ党首は、今回の総選挙はちょうど1年後であり、有権者はその選挙の前または選挙時に政府に対する評価を下すだろうと述べた。また、同党首は、DeSUSは今後も野党に留まり、党の結束強化に努めると述べたほか、仮にDeSUS所属議員の誰かが連立与党と特別協力協定を結ぶようなことがあれば、その議員は現在の議会任期後に議員になることはないだろうと述べた。



(Photo: Nebojša Tejić/ STA)

●国民議会、選挙関連法改正案を可決【16日】

16日、国民議会は選挙関連法改正案を可決した。今回の改正案可決により、スロベニア国内の選挙区範囲が変更となる。選挙区については、2018年に憲法裁判所が選挙区間で一票の格差に大きな差があることを理由に選挙関連法の選挙区の規模を規定する条文が憲法違反であるとの判決を下していた。与党民主党(SDS)のグリムス議員によると、今回の改正により、これまで最大3.7倍あった一票の格差が2.7倍まで縮まるとのこと。選挙関連法改正を巡ってはパホル大統領が仲介役となり、これまで各議会政党と協議を続け、選挙区の範囲変更と選挙区の廃止の2つの案が検討されてきたが、選挙区廃止の選択肢には議会の3分の2の賛成が必要となることから、妥協案として議会の過半数で可決が可能な選挙区の範囲変更が今回なされた。また、同時に今回の改正で、少数民族枠議員の選挙方法についても手続が簡素化された。

●タクシー運転手の抗議活動【17日、25日】

政府が、タクシー運転手に対して72時間毎の新型コロナウイルス検査受診を義務付けたことに対し、タクシー運転手協会が抗議活動を実施した。協会側はタクシー以外の公共交通の運転手が検査無しに業務が可能であるにもかかわらず、タクシー運転手のみ72時間毎の検査を義務付けるのは不公平であると主張し、少なくとも検査頻度を週1回にするべきであると述べたほか、毎回数時間列に並んで検査を受けなければならない点にも不満を表明した。

25日、政府はタクシー運転手に対する新型コロナウイルス検査義務をそれまでの72時間毎から週1回に緩和した。また、それに伴い、他の公共機関の運転手にも週1回の検査を義務付けた。タクシー運転手協会は、緩和措置を歓迎しつつ、検査受診の際の待ち時間短縮のため、運転手に対して特別の時間帯を設けることを期待すると述べた。

●新保健大臣の就任【23日】

23日、国民議会は、ポクルカル保健大臣の任命を賛成多数で承認した。ポクルカル新大臣は、内科を専門とする医師で、2019年8月からリュブリャナ大学病院長を務めていた人物。同大臣によると、政党には所属していない。なお、保健大臣のポストに関しては、年金者党(DeSUS)が連立与党を離脱したことに伴い、同党所属のガンタル保健大臣が辞任した昨年12月からこれまでの期間、ヤンシャ首相が一時的に保健大臣も兼務していた。ポクルカル新大臣は大臣就任にあたり、「最優先課題は、保健省内の組織改編と人員強化であり、新型コロナウイルス顧問チームの業務変更、再編、評価等の全てが新型コロナウイルス対策につながっている。また、防護具の備蓄、検査、ワクチン接種の状況及び接種計画についても確認する予定である。また、(医療機関における診察までの)待ち時間への対策、医療機関へのアクセス向上、復興・レジリエンス計画の準備、スロベニアのEU議長国就任に係る準備も進めていく」と抱負を述べた。



(Photo: Government of Slovenia, www.gov.si)

●年金者党、野党連合には加わらず【24日】

年金者党(DeSUS)のエリヤヴェツ党首は、今後、同党は穏健派野党として行動していくことを決定した旨述べた。同党は、連立与党との協力合意には署名しないが、一方で中道左派野党が集まる野党連合(KUL)にも合流しないとして、連立与党の提案のうちでDeSUSのマニフェストに合致するもの、特に高齢者の権利向上や長期介護の分野については支持していくとした。

【外政】

●ロガル外相、マルタを訪問【5日】

5日、ロガル外相は、マルタを訪問し、バルトロ外相と会談を行った。ロガル外相のマルタ訪問は、本年後半のEU議長国就任を前に両国の対話及び協力を促進することを目的としており、両者は、移民問題を含む各種問題における緊密な協力を呼びかけた。地中海に位置するマルタでは移民の数が増加していることからEUの移民政策に関する関心が高く、両者は同問題におけるEU加盟国間の責任と連帯のバランスをいかに取っていくかについて議論した。また、両者はEU拡大や各種国際問題についても議論したほか、バルトロ外相は、キプロス、ギリシャ、フランス、イタリア、マルタ、ポルトガル、スペインの地中海7か国が形成する「Med7」グループへのスロベニアの加盟に対する支持を表明した。滞在中、ロガル外相は、ヴェヅラ大統領、ファルツァ会議議長とも会談したほか、スロベニア人であるグレゴリ欧州庇護支援事務所(EASO)所長とも会談を行った。

●ロガル外相、キプロスを訪問【6日】

6日、ロガル外相はキプロスを訪問し、同国のフリストゥリディス外相と会談を行った。会談において、ロガル外相は、スロベニアが「Med7」グループに加盟する希望がある旨伝達し、フリストゥリディス外相は歓迎の意を表したほか、スロベニアのEU議長国期間中の優先事項に関する意見交換が行われた。また、両者はキプロス問題についても意見交換を行った。そのほか、ロガル外相は、東地中海及び同地域における事案に関し、キプロスに対する連帯を表明した。

●UAE、7トンの防護具を寄贈【8日】

アラブ首長国連邦(UAE)は、新型コロナウイルス対策支援としてスロベニアに約7トンの防護用品及び検査器具を寄贈した。リュブリャナ空港において支援物資を迎えたラシュチャン外務副大臣は、本件支援はUAEとスロベニアの良好な協力関係を示すものであると述べ、新型コロナウイルス対策における各国との協調及び連帯の重要性を強調した。



(Photo: Bor Slana/ STA)

●ポチヴァルシェク副首相兼経済開発・技術大臣、「17+1」首脳会合に出席【9日】

9日、ポチヴァルシェク副首相兼経済開発・技術大臣は、中国が主催する第9回中東欧・中国首脳会合(17+1)に参加した。同会合は、習近平中国国家主席がホストし、新型コロナウイルス対策、その後の経済再生、「17+1」イニシアティブ参加国と中国との間の連結性及びグリーン協力を中心に協議された。ポチヴァルシェク大臣はスピーチにおいて、「17+1」が実用的、透明性を持ち、結果にコミットしたメカニズムであることの重要性を強調した。またスロベニアは、新型コロナウイルスの影響削減のために他の参加国と緊密に協力する準備ができている旨述べた。また、スロベニアは中国とのより公平でバランスのとれた貿易を望んでいる旨述べ、スロベニア企業に対して公平なマーケットアクセスと平等な競争条件が与えられるよう強調した。同大臣は、EU・中国間の包括的投資条約に向けての進捗を歓迎しつつ、投資保護規定についての交渉継続の必要性を強調した。さらに、同大臣は、インフラ、コペル港、中東欧市場へのアクセスが連結性に特に重要であると述べ、また、スロベニアが議長を務める森林に関するメカニズム調整が成功裏に行われている点を指摘した。会合の最後には、2021年のロードマップを含む結論文書が採択された。

●パホル大統領、エストニア大統領とビデオ会談【11日】

パホル大統領は、エストニアのカリユライド大統領とビデオ会談を行った。会談において、両者は良好な二国間関係を確認し、グリーン及びデジタル化を中心とした協力促進の可能性について指摘した。また、両者は中国、ロシアとの関係及び米国・欧州関係等の国際関係についても意見交換を行ったほか、新型コロナウイルス克服のためには政治的安定性と協力が重要である旨一致した。

●EU議長国期間中の首脳会合開催の予定【22日】

22日、ロガル外相は、EU外務理事会出席後の記者団の取材に対し、本年後半のスロベニアのEU議長国期間中に、EU・西バルカン首脳会合及びレジリエンスに係る非公式首脳会合を開催することを検討している旨述べた。同外相は、EU・西バルカン首脳会合及びレジリエンスに係る非公式首脳会合開催はスロベニアの関心事項であり、保健分野からサイバー攻撃など様々な危機に対処可能な頑強なEUとなるための議論を行えることを望んでいると述べた。また、同外相は、具体的なアジェンダについての調整はこれからになるが、両首脳会合の開催に向けた準備はすでに行われている述べた。

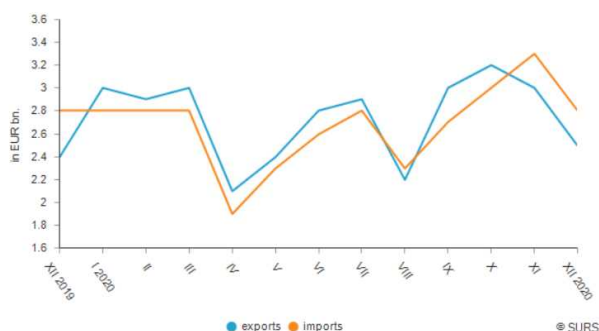
経済

【経済一般、指標・統計】

●2020年のスロベニアの貿易額、輸出入ともに減【9日】

スロベニア統計局は、2020年のスロベニアの貿易に関する統計データを発表した。これによると、2020年の輸出総額は約328億ユーロで前年比2%減となった。なお、内訳ではEU向けが約220億ユーロで輸出総額の67%を占めたが前年比8.8%減、EU以外が約108億で前年比15.3%増であった。一方、輸入に関しては、約320億ユーロで前年比6%減となり、EUからの輸入が約216億ユーロ(67%)で前年比11.6%減、EU以外からが約104億ユーロ(33%)で前年比8.1%増となった。なお、貿易収支は8億5千万ユーロの黒字であった。

Monthly values of exports and imports, Slovenia



(Photo: Statistical Office of Slovenia)

●欧州委員会による最新の経済見通し発表【11日】

欧州委員会は冬季の経済見通し報告書を発表した。これによると、2021年のスロベニアの経済成長率の予測は、これまでの5.1%から4.7%に下方修正したが、2022年については3.8%から5.2%に上方修正を行った。同報告書は、2021年及び22年とも、強い国内需要と輸出の伸びが成長の原動力となるとしており、2022年末にはGDPが2019年末時点を上回ると予測している。また、スロベニアの2020年のGDP暫定値は、マイナス6.2%とした。なお、同報告書はEU全体の成長率は、2020年がマイナス6.3%、2021年が3.7%、2022年が3.9%としている。

●スロベニア、セルビアと合同投資セミナー実施を計画【23日】

23日、ポチヴァルシェク経済開発・技術大臣はセルビアのマティッチ貿易・観光・通信大臣と会談を行った。セルビアの報道によると、両大臣は今夏もしくは今秋に両国の合同投資セミナーの開催を計画しているとのこと。マティッチ貿易・観光・通信大臣は、セミナー

の開催等を通じて両国間の投資が一層促進することを期待すると述べた。

●スロベニア商工会議所、カンタルティ前経済開発・技術副大臣を事務局長に任命【25日】

25日、スロベニア商工会議所理事会は、カンタルティ前経済開発・技術副大臣の商工会議所事務局長任命を承認した。カンタルティ新事務局長の任期は4年で、本年4月1日に正式に就任する予定。



(Photo: Anže Malovrh/ STA)

●2020年のスロベニアのGDP成長率:統計局速報値【26日】

スロベニア統計局は、2020年のスロベニア経済の各種速報値を発表した。これによると、実質GDPはマイナス5.5%となり、現行価格による名目GDPは462億9700万ユーロで、こちらもマイナス4.3%となった。また、家計消費支出がマイナス9.8%と大きく落ち込んだ影響を受け、国内総支出もマイナス6.5%となった。そのほか、2020年の雇用総数は103万6600人で、前年比1%減となった。

【企業、産業の動向】

●アドリア航空のブランドネーム、3万3千ユーロで落札【10日】

2019月に倒産したアドリア航空のブランドネームの競売が実施され、プスタティチュニク公式管財人は、ブランドネームが3万3千ユーロで海外の落札者に売却されることとなった旨明らかにした。同管財人によると、競売には海外からの4件を含む9件の入札があったとのことで、落札者名は明らかにされていない。今後、管財人と落札者の間で契約書に署名され、裁判所に結果が通知される。

●ハイセンス社、ビストリツァ・オブ・ソトリの生産工場を閉鎖【18日】

中国資本で家電製造大手のハイセンス・ゴレニェ社は、国内東部のビストリツァ・オブ・ソトリの生産工場を閉鎖した。同工場は約40年に渡りゴレニェ社製品

の部品を製造し、一時期は約100名の従業員が勤務していたが、近年は冷蔵庫及び冷凍庫のドア部分のみの製造を行っており、従業員も29名まで縮小していた。なお、同工場で勤務していた29名の従業員は、ゴレニェ社のロガテツ工場での勤務がオファーされるほか、同工場での勤務を希望しない者は退職金が支払われる。

●1人あたりの都市ゴミ排出量、スロベニアはEU平均【20日】

欧州連合統計局(EUROSTAT)の報告によると、2019年におけるスロベニアでの1人あたりの都市ゴミ排出量は504キロで、EU平均値とほぼ同じであることが明らかになった。2019年のEU平均値は502キロで、前年の2018年の495キロより増加したが、最も多かった2008年の518キロよりは少ない数値となっている。国別で見ると、1人あたりの排出量が最も多かったのがデンマークの844キロで、ルクセンブルク(791キロ)、マルタ(694キロ)が続いている。なお、最も排出量が少なかったのはルーマニアで1人あたり280キロ。



(Photo: Anže Malovrh/ STA)

●スロベニア初のIKEA店舗がオープン【25日】

スウェーデンの家具大手「IKEA」がリュブリャナのBTC内に店舗をオープンした。同店舗は初のスロベニアでの店舗となり、南東欧地域では5店舗目。同店舗は、屋根にソーラーパネルを設置しており、持続可能な発展にも配慮がなされている。なお、新型コロナウイルス対策の観点から、開店から少なくとも1週間は、長蛇の列を避けるため来店には事前の予約が必要となっており、状況が落ち着いたら年間200万人の来店者を見込んでいる。

新型コロナウイルス関連情報

●2月28日時点におけるスロベニア国内の新型コロナウイルスの感染状況【28日】

2月28日時点において、スロベニア国内で新型コロナウイルスへの感染が確認されている人数は累計189,589名で、死者は計4,127名となっている。スロベニア国立公衆衛生研究所が発表している28日時点での地域別の累計感染者は以下となっている。

地域	感染者数
スロベニア中心部	45,342
ドレンスカ・ベラクライナ地方	15,222
サヴィンスカ地方	25,164
ポドラウスカ地方	28,644
ゴレンスカ地方	20,207
ポムルスカ地方	13,079
オバルノ・クラシュカ地方	7,995
ゴリシュカ地方	8,689
コロシュカ地方	7,437
プリモルスコ・トランスカ地方	4,215
ポサウスカ地方	8,158
ザサウスカ地方	4,979
その他調査中	455

●アストラゼネカ社ワクチンが到着【5日、6日】

6日、スロベニアにアストラゼネカ社ワクチンの第一便が到着した。これにより、スロベニアでは、ファイザー/ビオンテック社、モデルナ社に続き、今後はアストラゼネカ社のワクチンも接種が可能となる。なお、予防接種に関する国家諮問委員会は、5日、アストラゼネカ社のワクチンは、高齢者に対する効用に関するデータが不足していることから、18歳から64歳までに使用を制限し、当面は高齢者ではなく、医療分野従事者、教育関係者等に使用することを勧告している。



(Photo: the Slovenia Times)

●国内全土がオレンジ地域に【9日】

政府は、過去7日間の新規感染者数及び入院者数が減少し基準を満たしたことを受け、国内全土をこれまでのレッド地域からオレンジ地域に変更した。これにより、一定の条件の下、面積400平米未満の物品販売の店舗等を含む店舗再開が認められたほか、10人までの集会も認められた。なお、引き続きレストランやバー等はデリバリーのための営業となるほか、夜間の外出禁止措置も有効。

●簡易抗原検査による陽性反応、今後はPCR検査での確認が必要に【12日】

12日、マガイネ保健副大臣は、今後、簡易抗原検査を受けて陽性反応が出た者は、PCR検査を受けて感染確認が必要となる旨述べた。これは、国内で学校が再開されることを受けて、教育関係者が一斉検査を受けた際に、多くに陽性反応が出て、その後PCRで再検査をした結果、陰性反応となった者が多かった事案を受けてのもの。なお、簡易抗原検査で陽性反応が出たものは、PCR検査の結果が出るまでは自主隔離が求められる。



(Photo: Daniel Novakovič/ STA)

●労働・家族・社会問題・機会均等大臣の新型コロナウイルス感染【24日】

24日、労働・家族・社会問題・機会均等省は、ツィグレル＝クラリ大臣が新型コロナウイルスに感染したと発表した。同大臣及び大臣と接触のあった職員は、国立公衆衛生研究所の勧告及び基準に従い、自主隔離を行うことになった。

●英国型変異種の感染状況【24日】

24日、リュブリャナ大学医学部所属の微生物・免疫学研究所は、スロベニア国内においてこれまでに35件の英国型変異種が確認されたと公表した。同研究所は、その内、21件については最近の旅行歴がないことから、国内での接触を通じて感染したことを意味すると指摘し、英国型変異種の感染拡大の原因として、予防措置の遵守が徹底されていないこと及び同変異種の強い感染力を挙げた。

●政府、オバルノ・クラシュカ地域をレッド地域に再指定【25日】

27日、政府はオバルノ・クラシュカ地域において感染が再拡大しているとして、同地域をこれまでのオレンジからレッドに指定した。これにより、同地域では一部の例外事項を除き、自治体間移動が制限されたほか、集会についても同世帯以外の者との集会は制限されることとなった。なお、国内のその他の地域についてはオレンジ指定を継続した。

●スロベニアで南アフリカ型変異種が初確認【26日】

26日、ポクルカル保健大臣は記者会見において、スロベニアで初めて新型コロナウイルスの南アフリカ型変異種が確認された旨述べた。感染者は、アフリカ訪問から帰国したマリボルに居住する者で、同人と接触があった者は自主隔離に入った。ポクルカル大臣は、念のため、マリボルで陽性結果となったサンプルの内、これまでの10%から30%に割合を増やして配列解析に送ると述べた。

治安・軍事

●トニン国防相、コソボミッションへの派遣人数削減につき言及【8日】

トニン国防相及びグラヴァシュ軍参謀総長はコソボを訪問し、NATOのKFORミッションに派遣されているスロベニア軍兵士を激励したほか、KFORのフェデリチ司令官と会談を行った。会談後、トニン国防相は、軍再配置を理由に、KFORに派遣する軍関係者の人数を削減する旨発表した。同国防相は、スロベニアにとってKFORは引き続き最重要ミッションのひとつであり、外国派遣されている軍人の約半数が同ミッションに従事している旨述べつつ、KFORに配置されている軍人の一部をボスニア・ヘルツェゴビナ及び他のEUミッションに異動させる考えを明らかにした。また、グラヴァシュ参謀総長は、フェデリチKFOR司令官との会談で、同司令官からスロベニア軍兵士の働きぶりに満足しており、スロベニア軍の貢献に対する謝意表明があったと明かした。

●雪崩により数名が死亡【13日】

13日、カムニク・サヴィニャアルプス西部のストルジツ山において雪崩が発生した。同雪崩により登山者が生き埋めとなり、3名が死亡、1名が重傷を負った。また、救助隊が駆け付けた際に、再び雪崩が発生し、それにより隊員2名が負傷した。警察当局は、悪天候の中において山岳でのハイキング及び登山を行うことに対し、注意を呼び掛けた。

社会・文化・スポーツ

●ブレッドの現代美術館建設計画【1日】

ブレッドにおいて、現代美術館の建設工事が今春に開始される予定。設計はロンドン出身のデイヴィッド・チッパーフィールド氏が行い、ブレッド城に通じる主要道路沿いの丘のふもとに建設される。主に個人のコレクションを中心に展示される予定で、その多くはイゴル&モイツァ・ラー両氏のコレクションであることから、ラー現代美術館と名付けられるとのこと。

●Elan社、画期的な折りたたみ式カービングスキーを発表【2日】

スポーツ用品製造の「Elan」社は、新製品Elan Voyagerを発表した。これは、画期的な折りたたみ式のカービングスキーで、同社は製品発表に際し、折りたたみが可能なスキーの登場により、傾斜が険しい場所にもアクセスが容易となり、スキーの未来を変えることになるだろうと述べた。なお、一般用の折りたたみ式カービングスキーの商品化はElan社が初めてとのこと、開発には4年を費やしたとのこと。



(Photo: the Slovenia Times)

●リュブリャナ大学病院における2020年の臓器移植の実績【20日】

2020年にリュブリャナ大学病院で実施された臓器移植手術は計114件で、前年と比較し、19件増加したことが明らかになった。スロベニア臓器移植研究所のアウセツ所長は、2020年は新型コロナウイルスの影響で輸送やロジスティクスの面で難しい点はあったが、EU各国との臓器移植に関する協力等は継続されていたと述べた。なお、2020年には136の臓器が提供され、ドナーは計48名だった。また、現在スロベニアでは10,618名のドナーが登録されている。2020年1月現在で臓器移植を待っている患者は203名で、臓器移植までの平均的な待ち時間は腎臓が300日、心臓が247日、肝臓が155日、肺が100日とのこと。

欧州最高峰の煙突が クライミングコースに変身

スロベニア東部のサバ川沿いに位置するトゥルボウリエ火力発電所の煙突が、クライミングルートに生まれ変わりました。

1976年、トゥルボウリエ火力発電所内に、360メートルの高さの煙突が設置されました。同煙突は、欧州で最も高い煙突となりましたが、発電所は2014年に閉鎖され、これ以降、この煙突も使用されてきませんでした。



(Photo: RTV Slovenia)

今回、この煙突が世界で最も高い人工のクライミングルートに変身することになりました。このクライミングルートは、ルート設計資格を有するスロベニア人のカーチャ・ヴィドマル氏とシモン・マルゴン氏により設計され、13のルートが設置されています。最も難しいコースは、「8b+」グレードとなっています。



(Photo: Total Slovenia News)

昨秋には、世界的なスポーツクライマーであるヤーニャ・ガルンブレト氏と、ドメン・シュコフィツ氏が、この煙突のクライミングに挑戦しました。1回目の挑戦では登頂までに12時間がかかり、また、クライミングの過程で何度か落下したために失敗との認定になりましたが、2回目の挑戦において、見事7時間30分で登頂に成功しました。

スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックもご覧ください！

スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせ等の情報を随時発信しております。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

★スロベニア人向けニュースレター「Living in Japan」のご紹介

当館では、毎月スロベニア人向けに日本紹介のニュースレター「Living in Japan (Življenje na Japonskem)」をスロベニア語で発信しています。今年は各都道府県に焦点を当てて、各地の歴史・産業・観光・物産品等を紹介してまいります。このニュースレターは当館のホームページでも公開しておりますので、どうぞご覧ください。

http://www.si.emb-japan.go.jp/Living_in_Japan.html

【領事班からのお知らせ】

●スロベニアに90日以上滞在される方は、在留届を提出してください。

(※インターネットでの提出が便利です。→ <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>)

●新型コロナウイルス:引き続き最新情報を入手し、感染予防に努めてください。当館HPでは、新型コロナウイルスに関する国内及び出入国規制等についてまとめたものを公開していますが、そちらもご覧ください。なお、規制は突然変更となる場合がありますので、最新情報についてはスロベニア当局にご確認いただくようお願いいたします。

【当館まとめページリンク】

https://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00037.html

【参考情報】

1. 外務省海外安全ホームページ

本サイトでは、各国・地域での新型コロナウイルスの発生状況、新型コロナウイルス(日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限)等の情報を掲載しています。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

2. たびレジ簡易登録

本サービスは、メールアドレスとメール配信を希望する国・地域を選択するだけで、当該在外公館から領事メールを受信することができます。ぜひご活用下さい。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register>

3. スロベニア国立公衆衛生局は、国内状況や感染予防の方法等について公開しています。

<https://www.nijz.si>

(主にスロベニア語)

4. スロベニア政府が、新型コロナウイルスに関する特設サイトを開設しました。コロナウイルスに関連した保健省の特設電話番号はこちらに掲載されています。

<https://www.gov.si/en/topics/coronavirus-disease-covid-19/>

5. 新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～(首相官邸)

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

6. 新型コロナウイルス感染症に関する情報について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

7. リュブリャナ空港ホームページ

<https://www.fraport-slovenija.si/en/Main>

8. スロベニア政府の下記のツイッターアカウント等で、随時情報発信が行われておりますので、こちらをご確認ください。

- 政府(英語): <https://twitter.com/govslovenia>
- 政府(スロベニア語): <https://twitter.com/vladars>
(英語版と若干内容が異なります。)
- 外務省: <https://twitter.com/mzrzrs>
(主にスロベニア語)
- 保健省: <https://twitter.com/minzdravje>
(主にスロベニア語)

【広報文化班からのお知らせ】

●第9回ジャパン・デーonline 開催！

第9回ジャパン・デーをオンラインで開催します。公邸料理人による和食紹介、生け花紹介そして、琴の演奏等の動画を配信する予定です。配信 URL は決まり次第、当館 FB 等でお知らせいたします。

動画配信期間:3月27日10時~28日17時の2日間

配信媒体:YouTube(予定)

●令和3年度国際交流基金海外巡回展「妖怪大行進:日本の異形のものたち」開催決定！

国際交流基金の海外巡回展「妖怪大行進:日本の異形のものたち」がスロベニアにやってきます。コロナ禍で話題となった“アマビエ”もやってきます。

開催期間:4月22日(木)~6月13日(日)

会場:スロベニア民族博物館、Meterkova 3, 1000 Ljubljana

●最新情報は、当館フェイスブックでチェック！

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia/>